

学 びやんだより

～ 生きがいつくり まちづくり ～



©河内長野市2011

平成26年(2014)3月号 No.52

●事務局 / 生涯学習部生涯学習課 (〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1 市民交流センター内、電話 54-0495、FAX54-0004)



森を愛し、森を守る、 力強い仲間たち

NPO法人 森林ボランティアトモロス

▲紀見峠 蟹井神社所有ヒノキ林 (写真提供トモロス)

この写真は NPO 法人森林ボランティアトモロスの間伐作業の様子です。皮むき作業がしやすい夏場に皮をむいて間伐し、現地で数か月、梢の葉をつけたまま自然乾燥させ、軽くなってから寸法切りして搬出されます。間伐すると森に光が射し込み、森が明るく生き活きてきます。間伐した後の木材は、トモロスも協力している、美加の台第 10 号緑地植樹事業 (市の「協働事業提案制度」) で丸太階段作りの材料などに活用されました。平成 18 年 2 月に設立、34 人から始まったメンバーも今では 77 人となり、「水を生みいのち育む森づくり」をモットーに、河内長野の森の保全に取り組んでおられます。私たち市民編集委員は、トモロスの様々な活動取材しました。

もりもり 森林に光を！ もりもり 森林を元気にする森林整備



▲蟹井神社林間伐前の様子(写真提供トモロス)

トモロスが結成されました。木が込み合っていて真っ暗になっていた森を間伐すると、森にさつと光が差しこみ、明るい森になります(右ページの写真は間伐後の森の写真です)。

市の総面積の67%が森林です。近年その森林の手入れを担当する人たちが非常に少なくなり、林業経営も課題が多いものとなってきました。

市では、平成18年に「かわちながの森林プラン」を作成し、「森林環境は市民共通の財産」と位置付け、環境を重視した森林整備支援への市民参加や地元材利用の仕組みづくりを基本方針に森林保全に取り組んでいます。森林プランの事業として市が始めた森林ボランティア養成講座の一期生の中から声が上がりが、



▲切り倒された後の切株

トモロスのメンバーの多くが自分たちの活動により森が変化することにやりがいを感じています。トモロスでは森を元気にしてくれる新たなメンバーを募集しています。

小学生の歓声 滝畑の森に響く

「高向小学校の45人です」。引率の先生が紹介し、「よろしくお願いします」と小学生の元気なあいさつが響きました。小雨ぱらつく初冬の滝畑の森で、小学校の「環境学習」の一環として、トモロスの協力を得て開催された「森林教室」の取材に行きました。「今日の間伐を楽しみにしていました」という児童に答え、トモロス代表の堀さんが、森林の役目や森林を守る

大切さをわかりやすく話されました。児童はトモロスのメンバー15人の指導のもと、間伐体験とロープ投げ実習の二つに挑戦しました。「のこぎりはまっすぐくひいて」「ロープ投げは、足と腰と腕で調子を取って」「おっちゃん、難しいわ」「どうすんの...」。まるでトモロスメンバーのお孫さんのような、かわいいお弟子さんたちと楽しい会話が弾みました。



▲もやい結びをしたロープ投げに挑戦中

新酒を

知らせる 杉玉作り

昨年11月中旬、トモロスのメンバーが応援している「杉玉作り」の取材に天野酒の西條合資会社へ行きました。約40人が仮設のテントの中で熱心に杉玉を作っていました。杉50本の葉から44個の杉玉ができました。

トモロスの堀さんに伺うと、この杉玉作りは景観を守るまちのシンボルとして、「高野街道酒蔵どおりプロジェクト」の主催で行われており、今年で5年目ということでした。杉玉というのはその昔、造り酒屋の看板でした。新酒の醸造が終わると緑の杉玉を玄関に飾り、それが茶色に色づくにしたがい、熟成が進んでいるというサインでした。トモロスは初年度から参加し、主に杉玉の作り方を伝えたり、材料の杉の葉の手配を担当されたりしています。杉玉の大きさは、小さい物で



▲左奥に吊るされているのが完成間近の杉玉です

35センチ、大きい物で45センチです。一つできあがるまでに約7時間かかり、はさみで丸く形づくる工程が特に難しいそうです。

雨の中、大勢の人の熱気にあふれた楽しい取材でした。

「美しい森を取り戻す！」 それがメンバーの願い

最近入会された人、ベテランの人などメンバー9人にお話を伺いました。

——「トモロス」の活動開始は？

トモロスメンバー(以下「トモ」)平成17年、市開催の「森林ボランティア養成講座」受講の一期生34人が「森林ボランティア」

を立ち上げ、ギリシヤ神話の山の神「トモロス」を団体名称としました。

発足当初は活動地が少なく、困っていました。経験を積んで技術力をアップし、イベントに積極的に参加することで、知名度を上げ、地域の信頼を得ることに力を注ぎました。

——メンバーの総数、男女比率、年齢は？

トモ 平成25年度入会予定者10人を含め、総勢77人、20%弱が女性です。30代〜70代の幅広い集まりです。

——「トモロス」に参加の動機は？

トモ 「子どもの頃から山が好き」「森林インストラクターの勉強が高じて」「担い手が少なくなっていく森林を見ていると誰かが守らねば」「第2の人生」「世の中のお役に立ちたい」などです。

——NPO法人化された理由は？

トモ 「子どもを育てながら、山が好き」「森林インストラクターの勉強が高じて」「担い手が少なくなっていく森林を見ていると誰かが守らねば」「第2の人生」「世の中のお役に立ちたい」などです。

トモ 「子どもを育てながら、山が好き」「森林インストラクターの勉強が高じて」「担い手が少なくなっていく森林を見ていると誰かが守らねば」「第2の人生」「世の中のお役に立ちたい」などです。

トモ 「子どもを育てながら、山が好き」「森林インストラクターの勉強が高じて」「担い手が少なくなっていく森林を見ていると誰かが守らねば」「第2の人生」「世の中のお役に立ちたい」などです。

トモ 「子どもを育てながら、山が好き」「森林インストラクターの勉強が高じて」「担い手が少なくなっていく森林を見ていると誰かが守らねば」「第2の人生」「世の中のお役に立ちたい」などです。

トモ 「子どもを育てながら、山が好き」「森林インストラクターの勉強が高じて」「担い手が少なくなっていく森林を見ていると誰かが守らねば」「第2の人生」「世の中のお役に立ちたい」などです。

トモ 「子どもを育てながら、山が好き」「森林インストラクターの勉強が高じて」「担い手が少なくなっていく森林を見ていると誰かが守らねば」「第2の人生」「世の中のお役に立ちたい」などです。

トモ 「子どもを育てながら、山が好き」「森林インストラクターの勉強が高じて」「担い手が少なくなっていく森林を見ていると誰かが守らねば」「第2の人生」「世の中のお役に立ちたい」などです。



▲トモロス代表の堀さん(写真中央)とともにお話をいただきました

トモ 組織運営や経費、信用を考へてのことです。これから更に信頼を高め、会員も増やして活動の拡大に努めたいです。

——現在の活動は？

トモ 定期活動は4班に分け、各班とも月2回の森林整備活動をしています。環境フォーラム、杉玉作り、ボランティア大会、府アドプトフォレストなどスポーツ活動にも積極的に参加し、PRに努めています。

——現在の課題は？

トモ メンバーと活動の拡大に伴い、資材・道具類が増えました。それらの保管のために、拠点や運搬車も必要となっています。

また、森林活動を継続するためにトモロスの活動に共感してもらえぬ人を増やしていくことが必要です。

——今後の活動は？

トモ 主には現在の活動の継続ですが、「美加の台第10緑地植樹」や「岩湧の森の活用」の協働事業提案制度などにも積極的に参加しています。そして「森林ボランティア養成講座」も推進し、メンバーの拡大に努めています。

「間伐した木が倒れ、光が射し、地面が輝くの…」という女性メンバーの声がいつまでも耳に残った清々しいインタビューでした。



▲危険が伴うため、毎回入念な打ち合わせを行い森林活動に取り組みます

森林ボランティア活動に参加しませんか!!

※活動参加には森林ボランティア養成講座(秋頃予定)の受講が必要▷体験は随時可能▷詳しくは問い合わせを。

【主な活動日時】

毎月第1・3週の連続した土日※(1日のみの参加も可)現地での活動時間 午前9時30分~午後3時30分

【主な活動場所】

河内長野市内、岩湧の森など公有・民有の森林や竹林など

【主な活動内容】

森林や竹林の間伐、その他整備保全作業、関連イベントなど

【問い合わせ先】

☎ 080-5706-0897 FAX 53-3232

電子メール fva@tmolus.jp 代表 堀さんまで

◎取材を終えて◎

取材を通して、森を愛する心で結ばれた仲間の力強さを感じました。

当市の67%が森林のため、「トモロス」への期待はとて大きいです。新しい仲間がさらに増え、今以上に信頼と知名度が上がることを願っています。

(市民編集委員一同)